

臨床研究に関する情報公開

福島県立医科大学器官制御外科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成26年12月 福島県立医科大学医学部器官制御外科学講座 講座主任 竹之下誠一

【研究課題名】膵癌、胆管癌における手術合併症危険因子、再発危険因子、予後因子の検討

【研究期間】 平成26年12月～平成28年11月

【研究の意義・目的】膵臓癌および胆管癌はわが国で最も生命予後不良な悪性疾患の一つです。現在、外科手術が最も優れた治療効果を持っていますが、手術後の合併症の頻度は他の手術に比べて未だ高いと言わざるを得ません。一方、手術後の追加治療として有効な化学療法は数が少なく、また、その効果も十分ではありません。このような現状で手術後に起こり得る合併症の起きやすい状況（危険因子）や、再発の起きやすい状態（再発危険因子）、生命予後に影響を及ぼす状態（予後因子）を特定することは大変有意義であると考えます。

【研究の方法】

・対象者の選定

研究期間内において当施設において治療を受ける胆管癌、膵癌患者のうち、研究参加の同意が得られた全ての方、および2006年1月から2014年10月31日までに当施設において入院時胆管癌、膵癌として手術治療を受けた方を対象とします。

・切除標本の保存

・癌組織のパラフィンブロックを借用し当科で免疫染色を行い、蛋白の発現状況を検査します

・免疫染色で得られた結果と臨床病理学的データを合わせて解析し、合併症危険因子、再発危険因子、予後因子を検討します。

・過去に手術を受けられた方の場合には、すでに切除された臓器のホルマリン固定標本の一部を使用させていただきますので、改めて処置や検査は受ける必要はありません。

・本研究結果から個人を特定できることはありません

【研究組織、研究機関名】

研究責任者	器官制御外科学講座	主任教授	竹之下誠一
主任研究者	腫瘍生体エレクトロニクス講座	准教授	志村龍男
研究分担者	器官制御外科学講座	講師	八島玲
	器官制御外科学講座	助教	小船戸康英

【人体から採取された試料等の利用について】

手術で切除された臓器の一部を使用して蛋白の発現状況を検査します。この発現状況が手術合併症危険因子、再発危険因子、予後因子として働いているかどうかを解析します。本研究結果から個人を特定することはできません。

【研究者が保有する個人情報について】

研究者が保有する個人情報に関し、被験者ご本人又は代理人の方が開示、訂正、利用停止及び第三者への提供の停止等の請求を行う場合、「福島県個人情報保護条例」に基づく手続きが必要となります。なお、開示等を行う場合、請求者には文書等の交付に係る費用（コピー代等）をご負担いただきます。

【本研究に関する問合せ先】

○研究内容に関する問合せの窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部腫瘍生体エレクトロニクス学講座

担当 志村龍男

電話:024-547-1259 FAX: 024-548-3249

E-mail:tshimura@fmu.ac.jp

○個人情報に関する窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学 総務課 大学管理係

電話:024-547-1007 FAX :024-547-1995

○その他ご意見の窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学 研究推進課 研究支援担当

電話:024-547-1825 FAX: 024-547-1991

E-mail:rs@fmu.ac.jp